

マリンロボ 3 号、4 号が撤去されました。

平成 24 年 5 月 19 日に稲取岬沖のマリンロボ 4 号ブイが、5 月 25 日には波勝崎沖の 3 号ブイが撤去され、10 年以上に及ぶ「しずおかマリンロボシステム」の運用が終了しました。

しずおかマリンロボシステムは、水温、流れなどをリアルタイムで観測する機能を搭載した浮魚礁を、静岡県沿岸に 4 基配置して海洋環境を広く把握する目的で行なわれた事業です。観測された水温や流れはインターネットなどによって、県民に即座に公開されました。平成 10 年 8 月に御前崎沖に 1 号ブイが設置され観測が始まりました。今回、撤去された 3 号ブイ（波勝崎沖）は平成 13 年 3 月に、4 号ブイ（稲取岬沖）は平成 14 年 4 月に設置されたものです。

3 号ブイは駿河湾の南東入口に、また、4 号ブイは相模湾の南西入口に設置されたので、駿河湾や相模湾への暖水波及や、相模湾を反時計周りに回る暖水の動きを捉えて、伊豆半島東岸や駿河湾の急潮対策などに役立ってきました。

ブイは浮魚礁として作られたもので、ブイ周辺（特に 3 号ブイ）にはしばしばカツオやキハダ、シイラなどが集群し漁業者等に利用されてきました。

しかし、観測機器のトラブルも多く、メンテナンスのための費用も嵩み、終には修理もできなくなりました。また、4 号ブイの設置された稲取岬沖は、東京湾に出入りする船舶の航行も多い海域だったため、船舶とブイとの接触事故も何度か発生しました。浮魚礁を兼ねた大型の海洋観測ブイの再設置は様々な問題から計画されていませんが、海洋情報のモニタリングと情報提供は、人工衛星の情報を取り込んだ関東・東海海況速報が平成 20 年から 1 都 6 県の協同で発行されるなど、最近整備が進んでいます。



写真 1 在りし日の 4 号ブイ
(平成 23 年 8 月 11 日撮影)

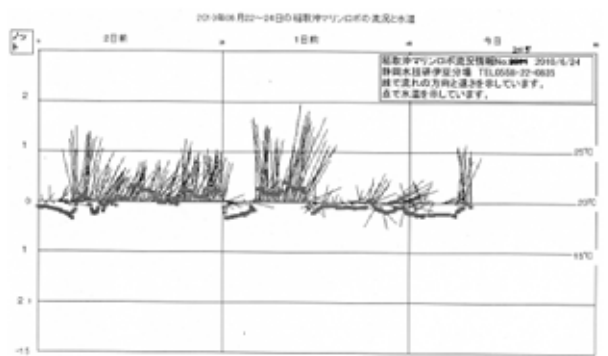


図 1 4 号ブイの観測した水温と流れ
(平成 22 年 6 月 22 ~ 24 日)

(海野幸雄)